

1 被災3県ドラマ舞台地の連携による観光周遊促進と新たな産業創出に向けた関係人口拡大おかえりプロジェクト

令和5年度実績

①事業の背景目的

東日本大震災以降に朝ドラの舞台地となった福島市・気仙沼市・久慈市の3市が連携し、朝ドラファンや被災自治体に関心を持つ層に対し共同してPRを行うことで、これまで単独自治体では接触できていなかった潜在的な被災地域関心層への訴求拡大や観光誘客の推進を図る。また、地域の魅力ある商品の開発や受入体制の充実により「地域のブランド力・包容力」の向上を進め、観光誘客を一時的な訪問や単発の消費に終わらせず、再訪を促し、継続的に関係人口として交流を進めていくことで、朝ドラのチャンスを復興後の地方創生に向けた強力な原動力として活用（「朝ドラ復興ツーリズム」）し、全国から「選ばれるまち」（「朝ドラ復興ツーリズム」から、交流人口や長期滞在者を増やし、関係人口増大・移住定住につながるまち）を目指していく。

②計画期間

令和3年度～令和5年度（事業期間3カ年）

③令和5年度事業実績

単位：円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
1 被災3県ドラマ舞台地の連携による観光周遊促進と新たな産業創出に向けた関係人口拡大おかえりプロジェクト	17,333,144	8,666,571
(1) 観光・物産・移住定住情報発信センター運営費		
・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金（負担金） センターを拠点として、各自治体の特産品の販売を行った他、首都圏在住者をターゲットに朝ドラ舞台地となった地域の観光PR、特産品・工芸品販売、イベントブース出展、移住定住相談会を実施し地域と首都圏間の関係人口の拡大を図った。 【運営者】 (株)日比谷花壇 【運営概要】 ①特産品販売：生ウニ（久慈）、野菜（久慈）、桃（福島）、牡蠣（気仙沼） ②おかえり館内イベント 久慈フェア、福島フェア、気仙沼フェア（各1回）創業祭（1回） ③交通会館内イベント マルシェ（5回）、有楽祭（2回） ④他施設でのイベント 広町みらい公園（9回）、その他（6回）	7,752,014	3,876,007
(2) 広告宣伝費		
・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金（負担金） 朝ドラ舞台周遊や特産品・工芸品販売を促進するための広告・宣伝、観光客の再訪や中長期的な交流を進め、交流人口の拡大のための情報発信を行った。 ①web広告 ・7～9月に「あまちゃん」「ウニ」などのコンテンツをメインとした広告を配信（検索広告：2,143クリック、Facebook/Instagram広告：33,602クリック） ②タイアップ記事広告 ・旅行興味関心者への認知拡大を目的に「ことりっふWEB」に記事を掲載（9月1日～9月15日（PV9,230件）） ③連携自治体開催イベントへの参加（1回） ・気仙沼産業まつり（10/22）	935,953	467,976
(3) 観光物産PR・移住促進合同おかえりプロジェクト		
・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金（負担金） 3市連携自治体をPRするためのイベント等を開催し、プロモーションを行ったほか、WEB広告により誘客の促進を図った。 ①「ただいまおかえり市」 3市の特産品の販売、体験コンテンツの提供、PRコーナーの設置 【開催日】 7月29～30日 【会場】 東京シティアイ（東京駅隣KITTE内）（東京都） 【来場者】 9,242名 ②WEB広告 Facebook広告（7/16～30）（表示47万回、クリック数1.1万回） LINE広告（7/24～30）（表示123万回、クリック数2.6万回）	959,577	479,788
(4) ロケツーリズム推進事業		
・北三陸「あまちゃん」観光推進協議会負担金（負担金） 「あまちゃん」に登場した地域資源やイベント、文化など、ロケ地を最大限活用した誘客を推進するための取り組みを行う。また全国的に地域の魅力をPRするために、様々な媒体を活用した宣伝広告を行い、観光客の誘客を促進する。 あまちゃん放送10年、及びBSでの再放送を受けて、新たなファンを増やすための取り組み「AMazing北三陸！キャンペーン」を実施し、観光客誘客を推進した。	4,500,000	2,250,000
・ロケツーリズムによるシティプロモーション委託業務（委託料） 一社）ロケツーリズム協議会が主催する協議会に参加し、全国的・先進的な取り組み等を研修するセミナーに参加したほか、ドラマや映画の映像制作者とのロケ誘致に係る商談会への参加や情報交換を行った。（年5回）	550,000	

(5) 商品開発費			
・第2のふるさとプロジェクト宣伝コンテンツ作成業務(委託費) 久慈市を第2のふるさとと呼び、親交のある俳優のんさんを起用し、第2のふるさとプロジェクト「くじのん～久慈のんびり旅」を実施するためのコンテンツを作成した。 【実績】冊子「くじのん」を1冊発行(3月) 人型アクリルスタンド作成(2種×100枚)	1,315,600	2,635,600	1,317,800
・「あまちゃん」の街PRキャラクター制作委託業務 久慈市とゆかりのある著名人を起用したプロモーション等により地域の注目度や価値を高めるため、のんさんに当市の観光資源・施設等を訪問し、体験してもらったための、事前調整や現地対応等マネージメント業務を委託した。 訪問先：縫製企業2社、市内飲食店2箇所、観光施設1箇所、その他インタビュー対応	1,320,000		

④事業の課題

おかえりプロジェクトの最終年であり、これまでの経験や成果を生かしながら、首都圏でのアンテナショップ運営、WEBを活用したプロモーションの実施、イベントを開催した。3市連携事業においては、3市のオンライン会議を積極的に行い、事業の進捗等を共有し、連携の強化を図った。連携期間終了後の3市での有効な連携体制について課題があり、本事業をきっかけとした継続的な連携については、引き続き検討する。

ロケツーリズム事業においては、あまちゃん放送10周年の取り組みを強化し、様々な事業の展開と情報発信を行い、地域への誘客に繋がったことが評価され、ロケツーリズム大賞「特別奨励賞」を受賞した。映画やドラマなど誘客効果の高いフィクション作品の誘致については課題であり、今後も誘致活動に努めたい。

第2のふるさとプロジェクトにおいては、俳優のんさんによる取材を実施し、久慈市の観光資源等を効果的に紹介するためのコンテンツを作成した。

⑤重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R3目標値	R4目標値	R5目標値
	実績値	実績値	実績値
首都圏アンテナショップ(情報発信・交流センター) 産品年間売上額	75,000千円 13,094千円	100,000千円 20,279千円	120,000千円 25,238千円
首都圏アンテナショップ(情報発信・交流センター) 年間来訪者数	150,000人 25,052人	200,000人 35,406人	250,000人 44,108人
福島市・気仙沼市・久慈市の観光客入込数の和(速報値)	9,247,137人 5,946,277人	9,367,137人 9,968,270人	9,517,137人 10,903,840人

⑥今後の展望

おかえりプロジェクト事業については、3市の連携体制による話題性や効果的な広告効果を得られた一方、地理的要因などの課題があり、本件をきっかけとした連携体制について検討していきたい。ロケツーリズム推進事業については、「あまちゃん」の再放送等による新たなファンの獲得に繋がっており、ロケ地を活用した観光客誘客を推進し、地域経済の活性化に繋がりたい。商品開発費については、著名人を活用したプロモーションに大きな反響があり、観光のみならず、久慈市のプロモーションにも繋がっていることから、引き続き効果的な誘客事業を実施していく。

2 地元学推進事業

令和5年度実績と令和6年度事業計画

①事業の背景目的

当市の目指す将来像として、最大の目標は人口減少・少子高齢化に歯止めをかけることである。人口減少の大きな要因は、卒業を機に市外への就学や就職によるものであり、若年層（10代～20代）の減少に伴い、出生数も減少し、地域の少子高齢化が進んでいる。このことから、若者へ久慈市で暮らすことを選択肢の一つとして捉えてもらうため、地域の様々な魅力を知ることきっかけとして若年層の地元愛を醸成し、地元の企業や暮らしについてイメージを持ち、同年代同士で交流を深めながら、地域で活躍する人材を確保・育成したい。また、進学等により市外へ転出した場合も、地元へ戻るきっかけや環境を整備し、転出者への効果的な情報伝達によりリターン者を増加させたい。

②計画期間

令和4年度～令和6年度（事業期間3カ年）

③令和5年度事業実績

単位：円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
2 地元学推進事業	23,943,342	11,971,670
(1) キャリア教育・事業者育成事業		
① キャリア教育推進		
・若者の雇用定着推進事業（委託費） 高卒新卒者の地元就職の推進を図るとともに、地元を離れて高等教育機関に進学する若者へも、地元就職する糸口となる意識付けを図り、地元の企業の魅力や地元で働くことのPRを進める事を目的に中学・高校におけるキャリア教育を推進するもの。 主に中学校が行うキャリア教育事業（キャリアオーケストラ、社会体験WEEK）の充実に資する事業を行うとともに、学校、事業所向け勉強会・セミナーを開催した。	4,017,556	
・キャリア教育事業関連バス借上げ（使用料）	260,480	
・キャリア教育事業関連バス運転手手当（会計年度職員）	10,490	
・キャリア教育企業ガイドブック・パネル作成業務（需用費）	403,040	
・合同職業講演会使用物品（需用費）	18,826	
② 事業者育成促進事業		
・事業者育成促進事業費（委託費） 市内事業所における人材の確保・育成・定着を支援することで、Kターン就職を希望する若者の受け皿を確保し、事業の拡大・地域活性化が図られるよう次の事業を実施した。 ①個別フォローアップ事業 事業所に対し対面及びオンラインにより支援（7事業所、合計36回） ②採用活動支援事業 情報共有会及び全体研修会（3回、33事業所（延べ）） 大学等訪問ツアー（9事業所、16校訪問）	1,924,520	
(2) 体験型教育推進事業		
① 体験型教育推進事業		
市内小中学校を対象に、今まで気付かなかった地元の魅力を発見させることを目的として、海・山・里の自然体験や伝統文化を生かした体験型教育を実施。参加校・団体や民泊先、体験インストラクターとの調整を行い、受入体制の核となる久慈市ふるさと体験学習協会が中心となり、受入体制を構築する他、体験コースの環境整備、ジオパークを活用した授業を行った。 また、体験型教育を通じた移住者の確保を目的に、県内外への体験学習のPRや新規体験メニューの造成も並行して実施した。		
・体験型教育インストラクター（職員報酬・手当）	79,809	
・体験型教育事務用品・燃料（需用費）	95,022	
・体験型教育パンフレット印刷（需要費）	295,900	
・体験型教育PR（役務費）	121,000	
・体験型教育受入地区開発経費（委託費）	514,800	
・体験コース、みちのく潮風トレイル環境整備（委託費）	726,000	
・体験型教育受入体制構築（補助金）	11,000,000	
・ジオパーク活用事業（負担金）	500,000	
② 民泊整備推進事業		
・民泊整備推進事業費補助金（補助金） 体験型教育推進事業に関連し、民泊受入れを推進するため、民泊施設の機能強化を目的に、民泊受入経営体の家屋において、浴室及び廊下等内装を改装する費用に対して補助金を交付した。 【実績】1件（山形町民泊農家）	500,000	
③ フォレストボード整備事業		
・フォレストボード整備委託事業（委託費） 体験型教育推進事業に関連し、体験メニューの一環として参加者が制作する、平庭の森林ウオーキングの足場となるフォレストボードの土台の整備・老朽箇所での修繕を行った。【R5実績】28.8m	1,099,230	
	6,634,912	3,317,456
	14,931,761	7,465,880

(3) 地産地消推進事業			
地産地消ふれあい給食事業			
地元で採れる食材（ホウレンソウ・短角牛・シイタケ・サケ）について、生産方法や流通先、調理方法などを学ぶことで、地元の魅力を再確認させること目的に、地元食材を使った給食の提供、生産者を講師とした授業の開催、地産地消イベントを実施した。 ①地産地消ふれあい給食 【開催日】11月13日、29日、1月26日、2月1日 ②地産地消スタンプラリー 【開催日】10月14、15日 【会場】久慈地方産業まつり会場		1,019,737	509,868
・講師（生産者）謝礼金（報償費）		7,400	
・給食原材料費（需用費）		1,012,337	
(4) 歴史文化・産業等情報発信事業			
①恐竜を活用したPR事業			
絵本作家宮西達也さんによる講演会とワークショップを実施した。 ▶ 講演会はアンバーホールを会場に久慈市内中学1年生と一般市民対象 入場無料 ▶ ワークショップはYOMUNOSUにて小学生対象 受講無料			
・恐竜を活用した子どもへのPR事業用消耗品（需用費）		12,292	
・恐竜を活用した子どもへのPR事業用消耗品（委託料）		385,000	
・恐竜を活用した子どもへのPR事業用消耗品（使用料）		59,840	
②地場産業PR事業			
・広域道の駅連携中心市街地誘客事業（委託料） 道の駅「いわて北三陸」の情報発信と併せて、中心市街地のイベントや個店情報を掲載したスタンプラリー付き情報誌の発行と、SNSを活用したPR動画の配信を行い、道の駅「いわて北三陸」の振興と中心市街地への誘客を図った。 【実績：情報誌発行3回、動画配信3回】		899,800	
		1,356,932	678,466

④事業の課題

キャリア教育推進については、生徒の地元で働くことの意義や魅力についての理解を深めるために、キャリアオーケストラや社会体験WEEK以外の、事前事後学習における生徒の事業目的に向けた理解醸成と、事業実施成果について親に情報発信をすることなどにより、親を巻き込んだ事業効果の向上を図ることが必要である。

事業者育成促進事業については、事業者が大学生等に対して直接事業者の魅力について情報発信を行いたいというニーズが増えている。なお、合同企業説明会等に参加する学生が少なくなっていることや、学生の就職活動の方法や時期が多様化する現状があることから、学生の就職活動が本格化する前から学生と事業者が触れ合い、事業活動について学生の理解を醸成する機会を作る仕組み作りが必要である。

体験型教育推進事業については、受入件数は48件で5件の増、受入人数は延べ4,111人で322人の増となった。受け入れ件数、人数ともに増加傾向だが、民泊については受け入れる民泊家庭が少なく一度に受け入れられる数に限界があることから、今後市内の体験プログラムの受け入れ地域、民泊家庭を増やしていくことが必要である。また、市内でも参加していない学校があることから、学校への魅力発信に努めていく。

⑤重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R4目標値	R5目標値	R6目標値
	実績値	実績値	実績値
久慈管内新規高卒者の管内就職率	39.1% 41%	40.2% 46.9%	41.2%
Uターン者数（転入者によるアンケートで出身地久慈と回答）	201人 187人	211人 105人	221人
市内自然体験受入校数	5件 6件	6件 8件	7件
地元愛に関する市民満足度	2.86% 2.82%	2.90% 2.82%	2.94%

⑥令和6年度事業計画

単位：円

事業内容	計画額(A)	交付対象額(A)×1/2
2 地元学推進事業	24,673,000	12,336,000
(1) キャリア教育・事業者育成事業		
① キャリア教育推進		
・キャリア教育推進事業費（委託費） 2年目に引き続き児童・学生に市内にある多様な職業の認知、職業観・勤労観の醸成、将来の自己実現の場として久慈市を候補の一つとして考えてもらうこと等を目的に、①～③の事業を実施する。 ①合同職業講演会事業 社会体験の事前学習として、地域企業を講師とした講演会を行う。また、事業の理解度と情報発信のため、事前事後学習への講師派遣、キャリア教育企業ガイドブックを発行する。 ②職場体験事業 合同の社会体験を市内事業所で行う。 ③スキルアップセミナー 事業者、教員等を対象に事業への深化、効果向上のため、専門家によるセミナーを行う。	5,533,000	
・事業者育成促進事業費（委託費） 市内に所在する事業者が抱える課題、強みを明らかにすることにより、事業者の魅力向上及び従業員の定着を図り、地元定着の促進、事業者の就労増を目的に、①～②の事業を実施する。 ①個別フォローアップ・全体研修事業 従業員の定着や就労増につなげるため、事業者に対し、課題・魅力の洗い出し、情報発信力の強化方策等の全体研修・個別フォローアップを行う。 ②Kターン促進事業 Kターン就職希望者の掘り起こしを図るため、大学が立地する地区において、市内企業の大学訪問等を行う。	2,080,000	
	7,613,000	3,806,500
(2) 体験型教育推進事業		
① 体験型教育推進事業		
市内小中学校を対象に、今まで気付かなかった地元の魅力を発見させることを目的として、海・山・里の自然体験や伝統文化を生かした体験型教育を実施する。参加校・団体や民泊先、体験インストラクターとの調整等を行う、受入体制の核となる久慈市ふるさと体験学習協会が中心となり、受入体制を構築する他、体験コースの環境整備、ジオパークを活用した授業を行う。また、体験型教育を通じた移住者の確保を目的に、県内外への体験学習のPRや新規体験地区の開発を行う。		
・体験型教育インストラクター（職員報酬・手当）	203,000	
・体験型教育事務経費	100,000	
・体験型教育受入体制構築（補助金）	11,000,000	
・体験型教育受入地区開発経費（委託費）	517,000	
・体験コース、みちのく潮風トレイル環境整備（委託費）	733,000	
・ジオパーク活用事業（負担金）	500,000	
② 民泊整備推進事業		
・民泊整備推進事業費補助金（補助金） 体験型教育推進事業に関連し、民泊受入れを推進するため、民泊施設の機能強化を目的に、民泊受入経営体の家屋において、トイレ及び内装を改装する費用に対して補助金を交付する。	1,000,000	
③ フォレストボード整備事業		
・フォレストボード整備委託事業（委託費） 体験型教育推進事業に関連し、体験メニューの一環として参加者が制作する、平庭の森林ウォーキングの足場となるフォレストボードの土台について整備・老朽箇所の修繕を行う。	1,100,000	
(3) 地産地消推進事業		
地産地消ふれあい給食事業		
地元で採れる食材について、生産方法や流通先、調理方法などを学ぶことで、地元の魅力を再確認させること目的に、地元食材を使った給食の提供、生産者を講師とした授業の開催、地産地消イベントを実施する。食材については、ホウレンソウ・短角牛・シイタケ・サケ以外の特産品も新たなPRの内容に追加する。		
・講師（生産者）謝礼金（報償費）	12,000	
・給食膳材料費（需用費）	995,000	
	1,007,000	503,500
(4) 歴史文化・産業等情報発信事業		
地場産業PR事業		
・情報誌、PR動画作成（委託費） 地域の特色である歴史文化や産業の情報発信をすることで、地元の魅力を発見・再確認させることを目的に、中心市街地の食の情報や地場産業のPR、市の各種取り組みを学ぶ情報誌やPR動画を作成する。	900,000	
	900,000	450,000

⑦課題への対応策

キャリア教育推進事業については、事前事後学習に関する勉強会を開催するなどしながら担当教員の意識付けを行い、生徒や親が久慈市で働くことの意義について理解が深まる事前事後学習となるよう促していく。

事業者育成促進事業については、就職担当の教員などと相談しながら、各大学の特色に応じた事業者と学生との接点づくりを行い、効果的に学生と事業者が情報交換を行うことができる機会を設ける。

体験型教育推進事業については、海の体験プログラムのほか、旧久慈市域での体験プログラムが少ないため、現在の受入地域である侍浜町に隣接した夏井町での民泊家庭・体験プログラムの充実を継続していく。また、閑散期の受入推進や民泊再開の周知などを継続していく。市内校長会などで体験プログラムの紹介を継続していく。

3 申請書記入サポートサービス導入事業

令和5年度実績

①事業の背景目的

本市における窓口の各種申請手続きでは、申請書への記入項目が多く、頻繁にある手続きではないことから多くの市民にとって不慣れな手続きであり、申請書への記入が市民にとって負担となっている。また、申請手続きが集中する年度末・年度初めなどは窓口が混雑する要因にもなっている。

申請書記入サポートシステムにより、来庁者の申請書記入の負担軽減及び申請手続き時間の短縮を図る。さらに、システムの導入に伴い、既存の申請書の見直し、窓口レイアウトの変更、業務フローの見直しなどを行い、市民サービスの向上させる。また、システムにより自動的に入力される項目については職員の確認作業の負担軽減及び手続き時間の削減を実現するとともに、手続き時間の削減、窓口混雑の緩和につながるものである。

②計画期間

令和5年度～令和7年度（実装期間1年、運営期間2年）

③令和5年度実績

単位：円

事業内容	事業費(A)	交付対象額 (A) × 1/2
3 申請書記入サポートサービス導入事業	1,626,900	813,450
申請書記入サポート導入		
・申請書記入サポート導入業務（委託料）		
<ul style="list-style-type: none"> ・キオスク端末設定（起票設定） 15画面 593,000 ・キオスク端末設定（画面追加設定）6画面 36,000 ・キオスク端末（キッティング） 2式 49,000 ・キオスク端末（吸い込み式カードリーダー） 2台 633,000 ・キオスク端末（ソフトウェア） 2式 55,000 ・MultiWinter8700 2台 73,000 ・現地設置、動作確認 2式 40,000 ・消費税 147,900 	1,626,900	813,450

④重要業績評価指標

重要業績評価指標（KPI）	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	実績値	実績値	実績値
システム利用率	40.0%	60.0%	80.0%
	1.7%		
申請書記入時間	5分	3分	3分
	5分		
利用者アンケートによる満足度	2.5	3.0	3.0
	3.0		
窓口担当課の超過勤務時間減少率	3.00%	5.00%	6.00%
	18.8%		

4 デジタル技術を活用した学校の情報化

令和5年度実績

①事業の背景目的

県内の統合型校務支援システムが導入されていない学校では、児童生徒のさまざまな情報がバラバラに扱われるため、十分な管理がされておらず、教員間の情報共有も不十分となっている。また、市町村域を越えた転校時に、情報のやり取りが紙となるため、教員の負担が大きく、情報が十分に引き継がれていないなどの問題が発生している。

全県統一の統合型校務システムを導入することで、情報の一元管理、教員間の情報共有、データ連携によるスムーズな手続きなどが可能となり、学習指導要領が目指す「個別最適な学び」を実現するための指導改善に役立て、本県教育の質的な向上を図る。

②計画期間

令和5年度～令和7年度（実装期間1年、運営期間2年）

③令和5年度実績

単位：円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
4 デジタル技術を活用した学校の情報化	1,798,632	899,316
全県統一統合型校務支援システムの導入		
・岩手県統合型校務支援システム構築業務（委託料）	1,798,632	899,316
初期設定費用（小学校：1,133,352円、中学校：665,280円）		

④重要業績評価指標

重要業績評価指標（KPI）	R5目標値	R6目標値	R7目標値
	実績値（県全体）	実績値（県全体）	実績値（県全体）
	実績値（久慈市）	実績値（久慈市）	実績値（久慈市）
全県統一統合型校務支援システム導入市町村数	12自治体	21自治体	26自治体
	12自治体		
	12自治体		
統合型校務支援システム整備率	50%	65%	75%
	51.6%		
	0.0%		
保護者連絡のデジタル化率	50%	65%	75%
	19.7%		
	14.4%		
意欲を持って自ら学ぼうとする児童生徒の割合（小学校）	82.5%	82.5%	82.5%
	未計測		
	84.7%		
意欲を持って自ら学ぼうとする児童生徒の割合（中学校）	82.5%	82.5%	82.5%
	未計測		
	86.8%		
授業等でICT機器を活用し、児童生徒にICT活用について指導できる教員の割合	80%	82%	86%
	75.8%		
	85.6%		

5 WEB口座振替受付サービス

令和6年度事業計画

①事業の背景目的

口座振替の開始には、窓口への持参か郵送の手段しかなく登録手続きも最長1ヶ月程度期間を要するため、口座振替登録が進んでいない状態である。それに伴い納期内収納率も低い状態である。そこで、WEBによる口座振替受付サービスを導入し口座登録期間の短縮、手続きの利便性向上を図り、口座振替利用率・納期内収納率の向上を目指す。

②計画期間

令和6年度～令和8年度（実装期間1年、運営期間2年）

③令和6年度事業計画

単位：円

事業内容	計画額(A)	交付対象額 (A) × 1/2
5 WEB口座振替受付サービス	3,850,000	1,925,000
WEB口座振替受付サービス導入事業		
・ASP初期費用	1,100,000	3,850,000 1,925,000
・初期費目追加費用	220,000	
・申込結果還元システム費用	330,000	
・NTTデータ関連契約料	550,000	
・各銀行システム初期費用（岩銀、労金、盛信、新岩手農協、ゆうちょ）	1,650,000	

④重要業績評価指標

重要業績評価指標（KPI）	R6目標値 実績値	R7目標値 実績値	R8目標値 実績値
WEB口座振替受付サービスを活用した口座振替申込件数	(半年間) 200件	425件	450件
口座振替利用率（金額）	39%	39.5%	41%
登録手続き期間平均	21日	18日	14日
納期内納付率（年間・一般税）	74.5%	75.2%	77.2%

6 学習用クラウド基盤導入事業

令和6年度事業計画

①事業の背景目的

当市は、知識・技能、思考・判断・表現が得意な児童・生徒の割合が全国平均を下回っている。GIGAスクール構想において整備された1人一台端末をより有効に活用することで、学習履歴の集計・分析が可能となる。教職員が児童・生徒の学習状況や習熟度を把握し、クラスの理解度に合わせた授業実施、家庭学習の充実を図ることで教職員の業務の満足度及び児童生徒の学校への満足度向上を目指すもの。

②計画期間

令和6年度～令和8年度（実装期間1年、運営期間2年）

③令和6年度事業計画

単位：円

事業内容	計画額(A)	交付対象額 (A) × 1/2
6 学習用クラウド基盤導入事業	7,994,000	3,997,000
情報処理教育振興事業		
・クラウドサービス環境構築・ユーザーメンテナンス業務	3,970,550	7,994,000 3,997,000
・AIドリル使用料	3,251,810	
・デジタル教科書使用料	771,640	

④重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R6目標値 実績値	R7目標値 実績値	R8目標値 実績値
ポータルサイト 各クラウドの起動回数 (割合)	50%	60%	70%
AI型ドリル 教職員からの学習指示回数 (割合)	50%	60%	70%
AI型ドリル 児童生徒の問題実施回数 (割合)	50%	60%	70%
クラウド型デジタル教科書の利用回数 (割合)	50%	60%	70%
児童生徒のICT活用を指導することができる教職員の割合	87%	89%	91%
ICTを活用した授業に関する積極肯定回答率 (小学校)	75%	77%	79%
ICTを活用した授業に関する積極肯定回答率 (中学校)	70%	72%	74%